

「湯浅えき蔵」YUASA EKIKURA 耐久生が名付けました。

—地域のすばらしい施設を大切に、
有効に活用していきましょう—



JR湯浅駅と一体化した複合施設「湯浅えき蔵」の全面オープン記念式典が10月3日に行われました。

施設の名称を付けたのは、本校2年生の木村沙羅さんです。県内外の応募者800人以上の中から選ばれました。

木村さんは「町のシンボルのしょうゆ蔵のような外観から名付けました。多くの方が訪れ、湯浅町が元気になってほしいです。」と気持ちを述べてくれました。

JR湯浅駅付近は、南海トラフ巨大地震による津波で2～3メートルの浸水が想定され、3階と屋上は、約800人が避難できる施設にもなります。

この施設には演奏会や講演会のできる地域交流センターや図書館などもあります。耐久生の皆さん、地域のすばらしい施設を有効に活用しましょう。

